

## 雨山峠－玄倉山行報告（平成 28 年 12 月 24 日（土））

天気： 晴れ 参加者： 3 名

行程： 新松田 7：55＝（バス）＝8：20 寄 8：30－9：30 登山口－11：55 雨山峠 12：00  
－12：40 雨山橋－15：00 玄倉 15：06＝（バス）＝15：49 新松田（反省会）

今回の寄－雨山峠－玄倉というルートは、丹沢ではかなり行きにくいルートの一つであるが、経験者が同行してくれるので安心して行くことにした。

当日は 7 時 40 分に新松田駅集合、55 分発のバスに乗り 8 時 20 分に終点の「寄」に着いた。近くのグラウンドにあるトイレを借りて、8 時 30 分に出発する。暖かかった昨日から一転して気温は低くなったが、まだそれほど寒くない。真っ青な空の下、最初は舗装道路を北に向かうが、本日は「超」の付く快晴である。9 時 10 分に赤い寄大橋との分岐を通過し、9 時 30 分恵水の森登山口に着き、ここから登山道が始まる。

まずは一旦植林帯の中を登るが、間もなく河原に降り沢沿いの道に行く。広い河原の道は何回も対岸に渡渉するのだが、橋は無く飛び石伝いに反対側に渡る。ほとんどの場所に新しい標識があるのでルートはわかりやすい。堰堤が連続して現れる河原の道を歩いて行き、だいぶ上流に来たなと思える 10 時 45 分に木製の長い梯子が現れた。植林帯を過ぎ、11 時 00 分に鍋割分岐を過ぎるとまたも沢沿いの道になる。すでにかなり上流で水量はほとんどないが、樋状にえぐれた沢底を歩く道になる。沢をさらに詰めると梯子が何か所かあらわれ、これを登ると 11 時 55 分に雨山峠に到着した。

峠には木製のテーブルがあり 2 人組が休憩していたが、我々と入れ違いに寄方面に下って行った。峠からは樹に邪魔されながらも富士山が見えるが、展望はあまりない。日陰で風も通るため寒いので、記念写真だけ撮って 12 時ちょうどに反対側に下山した。下りも最初は沢沿いの道となる。上流は歩きやすい道であったが、徐々に深い谷沿いの道となり、梯子や栈道が続く。上りに比べるとこちら側は比較的短く、12 時 40 分に雨山橋に到着した。

今まではほとんど人に会わない静かな山行であったが、林道に降り立つと行き交う人が多くなった。ほとんどの人がスニーカー程度の軽装で、荷物も持っていない。このユーシン溪谷は、「ユーシンブルー」と呼ばれる美しい青い水が見られることで最近有名になった。

下るにつれて水量が増え、特にダムの手前では深く溜まった水は青みを増してくる。残念ながらややグリーンに近い色となっているのは、すでに午後になりあまり陽が射さないからのようだ。途中幾つものトンネルを抜けるが、1 か所はライトが無いと通過が難しい。その後もゆっくり歩いたつもりだが、前方に玄倉大橋が見えてきて、15 時には玄倉バス停についてしまった。バスを待つ列に並んでいると、丹沢湖のはるか向こうに富士山の頭が大きく見えていた。うまい具合に 15 時 06 分発バスに乗り、15 時 49 分に新松田に着いた。駅前の居酒屋で反省会を開き、17 時 32 分新松田発の電車で新宿に向かった。（伊藤）



快調の河原



渡渉



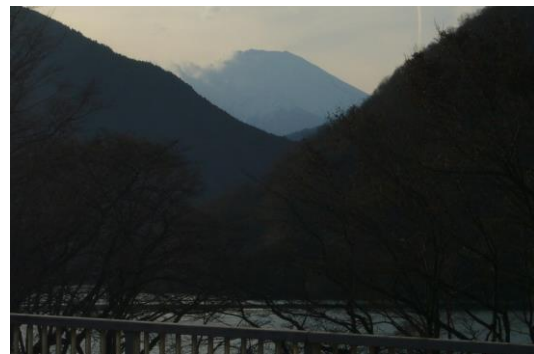
雨山峠にて



峠は近い



ユーシンブルー



富士山の頭